

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31年 4月 11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200866		
法人名	有限会社 サカコーポレーション		
事業所名	グループホームガーデンの家		
所在地	広島県広島市安佐南区緑井七丁目5-11 (電話) 082-962-6541		
自己評価作成日	平成31年3月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200866-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200866-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年3月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域との繋がりを大切にし、夏祭りや餅つき等の行事や「ひるCafe」を開催し、地域との交流機会を作っています。  
利用者様お一人おひとりにスポットを当て、「役割作り」や「趣味活動」等、個別での関わりを通じて、その人らしさの実現と生活が送れるよう支援を行なっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、区役所の支部や地域包括支援センターに近く、昔ながらの風景も点在する交通の便もよい場所に立地している。利用者にとって一番の楽しみである食事に力を入れ、月一回の調理レクリエーションでは副菜やおやつ作りでその人らしさの役割が発揮できるように支援している。口腔ケアや自立排泄支援、個人情報漏洩防止や身体拘束防止にも力を入れ、一人ひとりを大切にする、尊厳が守られたケアが行われている。家族や利用者の意見をケアに活かせるよう業務の見える化、改善も図られている。利用者の変化の都度、家族への説明も丁寧に行われている。家族室も設置され宿泊も可能である。季節の行事の他に、合唱祭も毎年行われいろいろな賞が設けられ利用者の励みになっている。地域や消防署とも協力して災害に対する取り組みも行われ安全にも配慮されている。

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼時に理念の唱和を行ない、倫理綱領という内部研修でも理念の下、研修を進めている。新たに地域密着事業の運営理念を、経営者、部門責任者、管理者、リーダーで作成し、各ユニットに掲示している。	理念の一つである「最後の10年が最後の10年となるための様々な価値を提供します」の毎朝の唱和により、職員から看取りの勉強がもっとほしい、専門性を磨きたい、最高の終末期を送ってもらいたいの声が上がり、日々のケアに繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域交流行事として夏祭りや餅つき会、プールの開放などを開催し、地域住民が気軽に来所出来るよう取り組んでいる。昨年から取り組み始めた地域清掃は、季節柄、現在は実施できていないが、暖かくなれば取り組みを再開する。	町内会長からいろいろな提案アドバイスをしてもらっている。事業所としては清掃協力やプールの開放で、地域の子供達と利用者の交流を図っている。広報には地域包括支援センターにチラシの配布など、協力してもらっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	奇数月に開催しているひるCafé（認知症Café）で地域住民が参加され、様々なテーマの元、開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	偶数月に開催している。町内会長や民生委員会、社会福祉協議会会長やご家族代表などに出席いただき、日々の取組み、地域交流行事などの報告を行っている。また、町内会長から出た意見をひるCaféのテーマに反映し開催予定である。	会議では利用者への日々の取り組み報告を行って運営状況を把握してもらい、話し合いを行っている。地域からは、水害の想定対策、転倒危険予測や対策、認知症カフェ、介護保険の話などの意見要望が求められ、対応策を報告しサービスに反映させている。	日程上（開催日が土曜）、地域包括支援センターの参加が最近ないが、年に一回程度日程調節を行ってできるだけ参加してもらえ環境を作ってはどうか。様々な視点においてより活発な運営推進会議になるのではないかと期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	平成31年1月1日に管理者が変更し、運営上、不明な点は電話連絡などで質問し、協力関係を築いている。	地域包括支援センターが近隣にあるため、利用者と散歩がてら行き来し、利用者のケアの現状の伝達、アドバイスや情報提供、利用者の受け入れ相談など、常に交流を図って協力関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠に関しては、線路に隣接しているため施錠をしている。現在、1名の入居者様に対し、夜間体のみフロアの入り口を施錠する対応を取っている。</p>	<p>施錠はなぜいけないかの話し合いや研修を行い、リスク委員会とも検討し、利用者の見守りのケアの方向性を確認している。夜寝ない利用者には昼間しっかり運動してもらうなど生活リズムの見直しや下へ降りて景色をみたい利用者には散歩の機会を増やすなど身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>事業所の内部研修や偶数月に開催される倫理綱領という社内研修で、虐待について研修を実施している。身体的な虐待はないが、現場の状況によってはスピーチロックにあたる状況が見受けられる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援事業や成年後見制度について学べていない。しかし、倫理綱領で地域包括ケアシステムについて学ぶ機会があった。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前から適宜必要書類などの説明を行ない、ご家族に不明点が生じた際には、電話連絡などでも解決出来る体制を作っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年2回の運営懇談会にて、ご家族からの要望を聞き取り、アンケートなども活用している。</p>	<p>利用者には日々の関わりの中で意向を把握している。家族アンケートから、看取りはしてもらえるかという心配や看取りをしてほしいという希望を把握することができた。現在の看取りの実態や今後に向けての方針、研修などについて丁寧に回答し、その結果を送付するなど、真摯に対応し運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフ間のチームミーティング、リーダーミーティング、管理者とリーダーとの部門ミーティング、代表者と管理者とのミーティングを月にそれぞれ開催しており、現場の声が代表者へも入るような仕組みを作っている。	管理者は職員の相談しやすい環境づくりに日頃から腐心しているため、提案なども出やすい環境である。早番の仕事の明示など業務の見える化やマニュアル作成、効率面での記載方法の改善などの提案があり、すぐできるものから対応がなされ職員の意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	半期に一度、職員一人ひとりの目標を立て、達成具合に応じ賞与に反映している。職員のモチベーションアップに繋がるよう、基本給ベースから努力・実績ベースに変更をして取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部研修の開催、外部研修への参加を勧めており、職員からも自発的に研修参加の希望の声があがっている。しかし、勤務の都合上、参加できない職員が発生した。フォローとして研修資料の配布をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同グループの他事業所職員との交流はあるが、外部事業所との交流が作れておらず、今後は外部事業所との交流の場を作っていく必要がある。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	新規利用者は、併設してる小規模多機能センター緑井からの入居のため、職員同士でスムーズな情報共有が実施出来た。		

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	管理者・計画作成担当だけでなく、直接ケアに関わる現場職員もご家族とのコミュニケーションを密に取っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	段階を踏んでケアを提供していくよう職員同士が日々話し合いを実施している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	毎日顔を合わせているうちに暮らしを共にするもの同士の関係が築けており、出来る人が出来ない人を手伝ったり、声をかけあうなどの関係が築けている。また、ご本人の役割を見つけ、無理のない範囲で家事を手伝っていたり、入居者の経歴や家族構成を把握し尊厳を持って対応している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	日々のコミュニケーションの中で、不安なところや問題点を一緒に解決していく関係が築けている。毎月近況報告のお手紙を送付したり、ブログを活用し遠方のご家族にも様子が分かるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方との関係を把握しきれていない。今後ご家族から馴染みの方の情報を収集していく必要がある。	馴染みの新聞を購読したり、馴染みのかかりつけ医に受診してもらったりして関係を継続できる環境を支援している。また昔、利用者がお酒を購入するなど利用していたお店に施設の食材を買い出しに行くときはいつも一緒に職員に同行して馴染みの関係を継続できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々のレクリエーションや家事を通じて入居者同士の関わりが持てるよう声かけを行なっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された方が2名で、うち1名は県外の高齢者施設へ転居、うち1名は入院、退去となったため相談などの問合せはなかった。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりに合ったケアを提供できるようアセスメントしたり、希望に沿うよう支援するためご家族にも話を聞いている。	利用者のふと発した言葉、例えば「家に帰りたい」などを職員ノートに書き留めて共有し思いを実践できるように検討し支援している。一人ひとりの言葉や思いや人生や生活歴などを書き溜めたメモリアルブックを作成して職員のみならず家族とも共有して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	フェースシートやメモリアルブックに反映させる情報収集シートを用いて、過去の生活歴が分かるようにしており、ご本人に聞けない時はご家族からも情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	細かな状態や発言を職員間で共有するために、職員ノートへの記入や朝礼、申し送りを徹底している。		

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	現状が変わるたびにご家族へ報告し、職員で意見を出し合い、課題に対し取り組み、ケアマネにも報告している。また必要に応じてカンファレンスの開催をしている。	現状に即した介護計画とするため、家族には度々電話で利用者の現状を伝えている。頻回、不眠、転倒などに対応するため、カンファレンスを開き、情報を収集して、根拠を提示し、モニタリングを行い、防止策を検討して介護計画を作成している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	生活記録を元に検討はしているが、介護計画の見直しまでには至っていない。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	日々の中で生まれるニーズをまとめ、個別ケアに展開している。訪問マッサージや訪問リハビリに加え、訪問歯科の提案・実践を行なっている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	散歩は建物の周囲しか出来ていないが、地域清掃や日々のゴミ捨てで外へ出る回数は増えた。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医とご家族、職員間での密な情報共有のため、定期受診は2ヶ月に1度職員も同行している。	ほとんどの利用者が入居後も以前からのかかりつけ医に継続して診てもらっている。2ヶ月に一度、定期受診に職員が同行し、詳しく情報を伝えるなど情報を共有して支援している。	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週一回、訪問看護が入っているが、入居者に変化があるときには随時電話連絡などで意見を求めている。伝えたいこと、診て欲しいことがあれば、事前に連携ノートに記入している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Dr. やご家族と情報交換をして今後のケアについて話し合ったり、入院時には医療連携シートを活用し、事業所での様子を医療機関へ発信している。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族会で説明をしている。事業所の体制として、看取りが出来る体制が作れていない。	終末期の往診可能医師が決まり次第、看取りを行う予定である。現状を家族には説明しているが、看取りの要望も多いので職員の研修や方針の共有などチーム体制を整えて支援に取り組む方向で進めている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応マニュアルを作成、活用し、内部研修も開催している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年二回、消防・避難訓練を実施しているが、地域との協力体制は出来ていない。また、水防法に基づき、水害の避難訓練を実施予定である。	水害時対策として、消防署に協力を仰いで施設独自の避難マニュアルを作成し、職員に周知し研修や訓練を行っている。土のう袋の設置や備蓄食など、リスク委員会とともに協議し、新しい情報を取り入れて整備している。	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ユマニチュードケアを事業所の基本的なケアの方針として、外部研修の参加、伝達、実践を行なっている。	誰が聞いてもその人を尊重していると思える言葉遣いを心がけている。遠くから「歯磨きしていません、入れ歯を外していません」など大きな声で人格を傷つける言葉を発しないように職員間でも注意しあって対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	～しませんかという本人本位の声かけを行ない、自己決定ができるよう対応している。しかし全ての思いを引き出せていない方もおられるため、今後は個別での関わりを充実させていく必要がある。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	無理のない範囲で家事をしていただいたりしているが、職員の出勤人数で差が出ていることもある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入浴時や起床時などは一緒に服を選び、髪の毛などもブローしたり整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	週に1度、通常の食事にプラス1品を提供している。	月に一度調理レクを行い、利用者みんなで焼きそばやお菓子など好きな物を調理して楽しんでいる。時々昼食にお好み焼きやハンバーガーなどを購入して楽しむこともある。食材を切ったり、片付けをしたり利用者の能力を活かして職員と一緒に食事作りを楽しむ支援もしている。	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>日々の記録管理に注意し、特に水分量に注意している。飲み物の好みも伺って提供することで各々の状態を把握、習慣に応じた支援が出来ている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアの声かけを行ったり、難しい場合には介助を行なっている。近隣の歯科で口腔清掃を行なっている方もおられる。新たに訪問歯科を導入し、口腔内の清潔保持に努めている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>失敗の少ない人には布パンツを勧め、定時で声かけや誘導を行なっている。</p>	<p>排泄パターンを全員で共有し、声掛けや誘導を行っている。最近では排泄のデータ化を図り、できるだけ布のパンツ使用、もしくはパットの併用でおむつの使用を軽減して自立に向けた支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量に注意している。また体を動かすよう声かけや体操も実施している。必要な方には薬での調整を提案している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>お一人おひとりの曜日、時間帯を決めており、ゆっくり入っていただけるよう声かけしている。</p>	<p>好きな香りのシャンプーを使用したり、バスクリンなどでゆったりした時間を過ごしてもらう取り組みをしている。風呂場の壁にはタイル仕様の富士山があり、お風呂屋さんの雰囲気も味わうことができる。入浴を拒む人もいるが、職員の都合ではなく利用者の好きな時に入浴してもらうよう配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>訴えがあるときなど、ご本人の 体調に併せて休んで頂いている。 居室温度や好みの布団など快適 に入眠出来るよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>お一人おひとりの内服薬の把握 を行ない、内服薬の変更時には 体調の変化に注意し、状態の把 握に努めている。高圧剤服用者 は血圧の変化、副作用が出てい ないか観察している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>楽しみを持って生活できるよう 支援しているが、一部の人にし か実施出来ない。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>買い物やゴミ出しを手伝って もらっている。また天気の良い 日は近隣の散歩、季節に応じた 外出行事を実施している。</p>	<p>日常的には食材を買いにドライ ブ外出したり、線路向こうまで 毎日ごみだしに職員と一緒に 出かけたりしている。家族と一 緒に外食を楽しむ利用者もい る。花見など外出行事も多く、 野球好きの利用者と、球場の車 椅子席でカーブ観戦をしたり 本人の希望に添った支援をし ている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>立替金という形で好きなものが 買えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( なんてん・ひいらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話は希望があれば対応しており、毎年入居者が年賀状を作成出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとの壁面飾りを掲示したり、花を飾るなど工夫している。</p>	<p>窓も大きく、日当たりも良好な共有空間からは四季折々の景色や電車や人の往来を目にすることができ、季節感や生活感を常に感じることができる。トイレ、廊下など物を置かずスッキリと片付けられ安全にも配慮され居心地の良い空間で暮らすことができるように心配りがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>壁面飾り季節行事を実施している。また席の配置を工夫しており、仲の良い方同士が座れるようにしている。またソファを設置しており、ご本人が居場所を選ぶことが出来るよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>認知症の方の環境の変化を少しでも軽減させる為、入居時にご家族へ使い慣れた物の搬入を依頼している。また、誕生日プレゼントなどでお渡ししたものをご自分の物として使っていただけるよう、プレゼントも工夫している。</p>	<p>使い慣れた飾り台の付いたタンスや座卓、座椅子、座布団、TVなど自由に持ち込まれ、自宅と同様の暮らしが継続して営まれるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ホワイトボードに日付や季節の分かるものを飾ったり出来ることを継続できるようケアをしている。</p>		

V アウトカム項目( なんてん・ひいらぎ ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームガーデンの家

作成日 令和元年 5月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域包括支援センターの運営推進会議への参加。	ガーデンの家の取組み内容を知って頂き、参加を依頼する。	現状、包括より参加は難しいとの事なので、運営推進会議開催後の議事録をお渡しし、取組み内容を報告する。	8ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。